

令和4年度第1回 横浜健康経営認証委員会

令和5年1月11日（水）
午前10時00分～12時00分
横浜市役所18階共用会議室みなと5

次 第

議 事

- | | | |
|-----|---------------------|--------|
| 1 | 委員長の選任 | 資料3、4 |
| 2 | 横浜健康経営認証制度について | 資料5、6 |
| 3 | 審査 | |
| (1) | 認証区分決定の流れ及び審査基準について | 資料7～10 |
| (2) | 審査 | 資料11 |
| 4 | その他 | 資料12 |

〈配付資料〉

- 資料1 「横浜健康経営認証」事業実施要綱
- 資料2 健康横浜21推進会議運営要綱
- 資料3 横浜健康経営認証委員会（部会）設置要綱
- 資料4 令和4年度横浜健康経営認証委員会委員名簿
- 資料5 横浜健康経営認証制度について
- 資料6 令和4年度横浜健康経営認証における見直しの実施状況について（報告）
- 資料12 4つの認定・認証を取得した企業を対象とする「横浜グランドスラム企業表彰」を創設します（横浜市記者発表資料）

※非公開の「議事3 審査」に係る資料は除く

「横浜健康経営認証」事業実施要綱

制定 平成 28 年 11 月 1 日 健保事第 2136 号（局長決裁）
最近改正 令和 4 年 6 月 10 日 健保事第 792 号（局長決裁）

（趣旨）

第 1 条 この要綱は、第 2 期健康横浜 2 1（健康増進計画）に基づき、働く世代の健康づくりを推進することを目的に、経営者が従業員を人的資本ととらえ、経営者による戦略的な健康づくり事業を通じて、従業員の活力向上と生産性の向上により組織の活性化をめざす経営手法である「健康経営」の考え方を取り入れ、事業所内での健康づくりを積極的に進める市内事業所を「横浜健康経営」事業所に認証し、広く取組事例等の普及・啓発を進める、横浜健康経営認証事業（以下「本事業」という。）の実施にあたり、必要な事項を定める。

（用語の定義）

第 2 条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号の定めるところによる。

（1） 市内事業所

「市内事業所」とは、市内に本社（本店）、支社（支店）、営業所等を有する事業（NPO 法人、公益法人等を含む）をいう。

（2） 委員会

「委員会」とは、健康横浜 2 1 推進会議運営要綱第 7 条第 1 項に基づき、健康横浜 2 1 推進会議の部会として設置する「横浜健康経営認証委員会」をいう。

（事業内容等）

第 3 条 本事業の内容は次の各号のとおりとする。

- （1） 「横浜健康経営認証」事業所の募集に関すること。
- （2） 本事業に申し込んだ市内事業所（以下「応募事業所」という。）の認証等の審査に関すること。
- （3） 認証を受けた市内事業所に対する、取組の継続的な支援に関すること。
- （4） その他本事業の実施に必要な業務に関すること。

2 委員会の運営に関し必要な事項は、別に定めるものとする。

（応募資格）

第 4 条 応募資格は、営利・非営利は問わず、次の各号の要件に適合する市内事業所とする。

- (1) 法人市民税及び事業所税を滞納していないこと。
- (2) 過去5年間に重大悪質な事案で労働安全衛生法などの従業員の健康管理に関する法令等に違反し、処分等を受けていないこと。
- (3) 暴力団等の反社会的勢力に所属せず、これらのものとの関係を有していないこと。
- (4) 代表者の他に従業員が1名以上いること。

(応募)

第5条 本事業に申込をする者は、次の各号に掲げる書類、事項を市長が定める期間内に提出しなければならない。

- (1) 横浜健康経営認証応募用紙 (第1号様式)
- (2) 前号のほか、市長が必要と認める書類、事項

(認証)

第6条 認証は、次の各号の手続きを経て基準に該当するものについて、委員会の審査結果に基づき、市長が決定する。

- (1) 事務局による応募書類の審査
- (2) 委員会における審査
- (3) 応募事業所への電話ヒアリング
- (4) 応募事業所への訪問ヒアリング

2 認証の手続きは、前項第1号及び第2号を必須とし、必要に応じて前項第3号または第4号を行う。

3 第1項第2号の審査は、応募事業所により提出された資料等を基に、委員会において審議し、その取組状況に応じて、「認証外」、「クラスA」、「クラスAA」、「クラスAAA」に区分する。

4 認証区分は、次のとおりとする。

- (1) クラスA
健康経営の概念を理解し、経営者自らが健康経営宣言や発信を行っているもの
- (2) クラスAA
前号に加え、健康経営の推進体制の整備、従業員の健康課題の把握、具体的な取組を実施しているもの
- (3) クラスAAA
前号に加え、健康経営の取組結果を評価し、次の取組につなげているもの
- (4) 認証外
第1号に満たないもの

(認証の通知)

第7条 市長は、第6条第4項第1号から第3号の認証区分に該当する事業所（以下「認証事業所」という。）に対し、「横浜健康経営認証通知書」（第2号様式）によりその旨を通知するものとし、後日認証状を交付できるものとする。

2 市長は、第6条第4項第4号の認証区分に該当する事業所に対し、「横浜健康経営認証通知書」（第3号様式）によりその旨を通知するものとする。

（副賞）

第8条 市長は、認証事業所に対して、副賞を贈ることができる。

（認証期間及び再認証）

第9条 認証期間は、応募の翌年度の4月1日から2年間とする。

ただし、認証期間中に区分変更を目的として再度応募することを妨げるものではない。

2 認証事業所は、認証期間が満了する年度に、再度申請し、審査を受けることで認証を継続することができる。

3 平成31年4月1日から認証期間となる事業所の認証期間については、第1項に関わらず3年間とする。

（認証マーク等）

第10条 認証事業所は、本市が定める「認証マーク」を利用することができる。ただし、その使用の際には、別に定める方法により、認証年度及び認証期間を明らかにすることとする。

2 認証事業所は、「横浜健康経営」及び「健康経営」の文言を第1条に定める趣旨以外の目的で使用してはならない。特に自らの事業所の商品等を横浜市が推奨すると誤解を与えるような使用をしてはならない。

（認証の取消）

第11条 市長は、申請内容に虚偽がある又は申請内容と実際の取組内容に著しく隔たりがあると判断する場合に、一度認証された事業所の認証を取り消すことができる。

2 市長は、認証事業所が認証期間内に、重大かつ悪質な事案で法令等に違反し、処分等を受けた場合など、認証を取り消すことができる。

3 市長は、認証後に第4条の応募資格を満たさない事案が生じた場合には、一度認証された事業所の認証を取り消すことができる。

4 市長は、前3項に従い認証の取消を実施するにあたり、委員会の意見を聴取することができる。

（事務局）

第12条 この要綱に定める事務は、健康福祉局保健事業課において処理する。

(その他)

第13条 この要綱に定めるもののほか、本事業の実施に関し必要な事項は、健康福祉局長が定める。

附 則

(施行期日)

この要綱は、平成28年11月2日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年7月19日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年5月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和元年6月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和2年6月29日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年6月15日から施行する。

附 則

この要綱は、令和4年6月10日から施行する。

健康横浜 2 1 推進会議運営要綱

制 定 平成 24 年 3 月 1 日 健保事第 3964 号 (局長決裁)
最近改正 平成 29 年 4 月 1 日 健保事業第 4107 号 (局長決裁)

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、横浜市附属機関設置条例 (平成 23 年 12 月横浜市条例第 49 号) 第 4 条の規定に基づき、健康横浜 2 1 推進会議 (以下、「推進会議」という。) の組織、運営その他必要な事項について定めるものとする。

(担当事務)

第 2 条 横浜市附属機関設置条例第 2 条第 2 項に規定する委員会の担任する事務の細目については、次に掲げるものとする。

- (1) 健康増進計画である健康横浜 2 1 (以下、「健康横浜 2 1」という。) の推進に関すること。
- (2) 健康横浜 2 1 の評価・策定に関すること。

(委員)

第 3 条 委員は、次に掲げる者のうちから市長が任命する。

- (1) 学識経験者
 - (2) 保健医療専門家
 - (3) 健康に関連するボランティア団体・企業等の各種団体の代表者
 - (4) マスメディアの代表者
- 2 委員の任期は、5 年以内とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 委員は、再任されることができる。
- 4 委員の代理は、認めないものとする。

(臨時委員)

第 4 条 推進会議に、健康横浜 2 1 の評価・策定や健康づくりに関する事項を調査審議させるため、臨時委員を置くことができる。

- 2 臨時委員は、次に掲げる者のうちから市長が任命する。
- (1) 学識経験者
 - (2) 保健医療専門家
 - (3) 健康に関連するボランティア団体・企業・各種団体の代表者等
- 3 臨時委員は、第 1 項の事項に関する調査審議が終了したときは、解任され

たものとする。

(会長)

第5条 推進会議に会長1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、推進会議を代表し、会務を掌理する。
- 3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 推進会議の会議は、会長が招集する。

- 2 会長は、推進会議の議長とする。
- 3 推進会議は、委員の過半数以上の出席がなければ開くことができない。
- 4 推進会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は、会長の決するところによる。

(部会)

第7条 健康横浜21について調査審議するために部会を置くことができる。

- 2 部会は、会長が指名する委員及び臨時委員をもって組織する。
- 3 部会に部会長1人を置き、委員及び臨時委員の互選によりこれを定める。
- 4 第6条の規定は、部会の会議について準用する。この場合において、同条中の「会長」とあるのは「部会長」と、「委員」とあるのは「部会の委員」と読み替えるものとする。
- 5 部会の委員構成や議事内容等を踏まえ、推進会議の会長が認める範囲において、前項に基づく部会の決定を推進会議の決定に代えることができる。

(会議の公開)

第8条 横浜市の保有する情報の公開に関する条例（平成12年2月横浜市条例第1号）第31条の規定により、委員会の会議については、一般に公開するものとする。ただし、委員の承諾があれば、会議の一部又は全部を非公開とすることができる。

(意見の聴取等)

第9条 会長又は部会長は、推進会議又は部会の会議の運営上必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くほか、資料の提出その他必要な協力を求めることができる。

(庶務)

第10条 推進会議の庶務は、健康福祉局健康安全部保健事業課において処理する。

(委任)

第11条 この要綱に定めるもののほか、推進会議の運営に関し必要な事項は、会長が推進会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この要綱の施行後最初の委員会の会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、市長が招集する。また、最初の部会の会議は、会長が招集する。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

横浜健康経営認証委員会（部会）設置要綱

制定 平成 28 年 11 月 1 日 健保事第 2136 号（局長決裁）

（趣旨）

第 1 条 この要綱は、「横浜健康経営認証制度」に係る審査等を行うため、健康横浜 2 1 推進会議運営要綱第 7 条第 1 項に基づき、健康横浜 2 1 推進会議（以下「推進会議」という。）の部会として、「横浜健康経営認証委員会」（以下「委員会」という。）を置き、委員会の運営その他必要な事項について定めるものとする。

（内容）

第 2 条 委員会は、次の事項について調査審議を行うものとする。

- （1）「横浜健康経営認証制度」の審査に関する事項
- （2）別途定める「横浜健康経営認証事業実施要綱」の認証基準等の改正に関する事項
- （3）その他、制度運営上必要な事項

（構成）

第 3 条 委員会は、推進会議の委員、健康横浜 2 1 推進会議運営要綱第 4 条に基づく臨時委員のうちから、推進会議の会長が指名する者をもって組織する。

（任期）

第 4 条 委員の任期は 2 年以内とする。ただし、委員に欠員が生じた時の補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任を妨げない。

（委員長）

第 5 条 委員会に委員長を 1 人置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を掌理する。

（会議）

第 6 条 委員会の会議は、委員長が招集する。ただし、委員任命後、委員長選出前の委員会の会議は、推進会議の会長が招集する。

2 委員長は、委員会の会議の議長とする。

3 委員会は、委員の過半数の出席により開催する。

4 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は、委員長の決するところによる。

5 委員会の議事を効率的に運営するため、委員は会議開催前に書面による予備審査をすることができる。

6 委員会を欠席する予定の委員は、第 2 条に関する意見を書面により事前に提出するこ

とができる。

(会議の公開)

第7条 横浜市の有する情報の公開に関する条例（平成12年2月横浜市条例第1号）第31条の規定により、委員会の会議については、一般に公開するものとする。ただし、第2条第1号については、同条例第31条1項2号の規定により、非公開とする。

(意見の聴取等)

第8条 委員長は、会議の運営上必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くほか、資料の提出その他必要な協力を求めることができる。

(推進会議への報告)

第9条 委員会は、会議内容及び審査結果を推進会議へ報告するものとする。

(守秘義務)

第10条 委員及び関係者は、委員会の運営上知りえた秘密を厳守するとともに、これを他に利用してはならない。

(庶務)

第11条 委員会の庶務は、健康福祉局保健事業課において処理する。

(委任)

第12条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会の会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

この要綱は、平成28年11月2日から施行する。

横浜健康経営認証委員会委員名簿

五十音順・敬称略

	氏名	所属・補職名	健康横浜21 推進会議
1	おおの たかこ 大野 多賀子	株式会社 日本政策投資銀行 サステナブルソリューション部・調査役	臨時委員
2	おぞえがわ ただあき 小副川 忠明	横浜商工会議所 中小企業相談部 経営支援課 課長	臨時委員
3	きただ しゅうへい 北田 昇平	花王株式会社 人財開発部門健康開発推進部 全社産業医	臨時委員
4	さいとう てるよ 齋藤 照代	国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 看護学科 教授	臨時委員
5	たじま てつや 田島 哲也	全国健康保険協会神奈川支部 企画総務部長	委員
6	やまざき あや 山崎 文	公益財団法人 横浜企業経営支援財団 経営支援部 イノベーション支援課長	臨時委員
7	わたなべ てつ 渡辺 哲	独立行政法人 労働者健康安全機構 神奈川産業保健総合支援センター所長	委員

横浜健康経営認証制度について

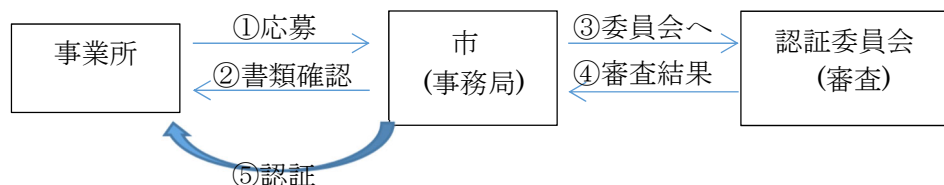
1 制度概要

(1) 対象

- 市内事業所(市内に本社、支社・支店等を有する事業所)であること(非営利法人等も含む)
- 代表者の他に従業員が1名以上いること 等

(2) 審査

提出された応募内容を基に、事務局が書類確認等を行い、健康横浜21推進会議の部会として設置された「横浜健康経営認証委員会」で審査のうえ、市長が認証



(3) 認証区分

区分	説明
クラスA	経営者が健康経営の概念を理解し、健康経営宣言等で明文化し、その意思を具現化した取組を行っているもの
クラスAA	健康経営の推進体制の整備、従業員の健康課題の把握、健康課題に即した取組を行っているもの
クラスAAA	健康課題に即した取組の結果を評価し、次の取組につなげているもの

(4) 認証期間

認証期間は、応募の翌年度の4月1日から2年間(満了年度に、再申請により継続(更新可))

(5) 認証事業所に対する取組支援メニュー

メニュー	対象認証区分		
	クラスA	クラスAA	クラスAAA
認証状の発行	○	○	○
認証マークの活用	クラスごとの認証マークを使用		
市ホームページでの紹介	○	○	○
健康測定機器の貸出	○	○	○
専門職の派遣(保健師、栄養士等)	○	○	原則対象外
横浜市中心企業融資制度(SDGsよこはま資金)の優遇	対象外	○ 一定の条件あり	○ 一定の条件あり
一部市公共調達での優遇	対象外	○ 一定の条件あり	○ 一定の条件あり

2 スケジュール(予定)

日時	事項
令和4年6月16日～9月30日	応募受付
～12月	応募事業所(414事業所)応募書類確認等
令和5年1月11日	横浜健康経営認証委員会
2月上旬 下旬	認証事業所決定/応募事業所に認証結果通知 記者発表(認証事業所公表)
3月22日	横浜健康経営認証2023認証式@市役所 (クラスAAAのみ対象)
3月29日	健康横浜21推進会議(認証結果報告)

令和 4 年度横浜健康経営認証における見直しの実施状況について（報告）

昨年度の横浜健康経営認証委員会において、健康経営のすそ野の拡大や効果的な取組を行う事業所の増大に注力することと、効率的に審査を進めることを両立するため、また、新型コロナウイルス感染症の発生を踏まえ、横浜健康経営認証の見直しの方向性について検討いたしました。検討を踏まえた今年度の見直しの実施状況について報告します。

【令和 4 年度における見直しの実施状況】

	令和 3 年度に生じた課題、 横浜健康経営認証委員会での御意見	令和 4 年度の見直しの実施状況
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスにより大変な社会状況を見ると、企業継続のために、評価項目にBCPの視点を入れてほしい。 ・国の認定基準は、高いレベルの受動喫煙対策を行う事業所を評価している。受動喫煙対策について、評価の重みづけをしてもいいのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは事業継続計画の大切さを伝えるため、クラスAの評価項目であるⅡ「経営トップの意思の具現化」の「感染症予防対策」の選択肢に、事業継続計画を定めていることを追加しました。 ・応募にあたっての《確認事項》において、健康増進法に基づき受動喫煙を防止する措置を取っている旨の項目を追加しました。
応募用紙	煩雑との意見が多く、クラスAA以上に係る「Ⅳ健康課題の把握と取組」6～7ページについて、記入しやすく、確認しやすい様式となるよう見直します。	Ⅳ「健康課題の把握と取組」設問1～3の健診受診率、要指導、要医療の割合については、「対象者数」や「健診実施者数」（分母）と「受診者数」や「要指導、要医療者数」（分子）を入力することで割合が自動計算される様式に変更しました。
健康課題の把握	クラスAA以上の必須項目である健康課題の把握において、健診結果を把握しづらい、集計方法が分からないという理由でクラスAAの申請を断念する例がありました。	Ⅳ「健康課題の把握と取組」設問8-①において、「健診実施者数（分母）」と「有所見者数（分子）」を入力し、有所見者割合が自動計算される様式に変更しました。また、計算過程を入力することで添付資料は不要とし、応募事業所の負担を削減しました。
健康課題への取組	健康課題に対し、質・量ともに効果的な取組を実施いただけるよう、応募用紙に掲載する取組を見直します。また、事業所からは、コロナ禍で取組ができない、他の事業所の好事例を知りたいという声があることから、平成30年4月に発行した「横浜市健康経営ハンドブック」を改訂し、ウィズコロナ等、時代に即した取組事例を盛り込み、市ホームページ上で提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ・Ⅳ「健康課題の把握と取組」の設問8-③の各種取組において、健康課題の解決につながる取組について御回答いただけるよう、「～できるよう、～という取組をしている」と取組の理由を追加しました。 ・セミナーにおいて認証事業所によるコロナ禍の取組を紹介しました（4社）。今後は、事例集、ハンドブックの改訂を進めていきます。
制度運営・審査	応募者及び審査者双方の負担軽減の観点から、現在の郵送受付のみから、オンラインと紙書類郵送の併用による受付方法に変更します。また、令和5年度以降の再応募による同ランクの認証（例：令和3年度ランクA⇒令和5年度の再応募もA）については、認証通知書及び認証状のみ交付し、副賞は送らない予定とし、令和3年度の認証事業所に予告します。	<ul style="list-style-type: none"> ・市電子申請システムを活用し、会社情報やアンケート項目はシステムに入力いただき、応募用紙、説明資料はシステムへの添付により御提出いただく受付方法に変更しました。引続き、希望事業所による郵送提出も可能としました。 ・昨年度の副賞送付時に今後は同クラスへの再応募の場合には副賞の送付がない旨をお知らせしました。

令和4年6月16日
 経済局 中小企業振興課
 政策局 男女共同参画推進課
 健康福祉局 保健事業課
 温暖化対策統括本部 SDGs 未来都市推進課

4つの認定・認証を取得した企業を対象とする 「横浜グランドスラム企業表彰」を創設します







横浜市は、働きやすい職場づくりや、健康経営、SDGs の達成など、社会のニーズに応え、地域に貢献しながら経営に取り組む企業を応援することを目的とし、本市が実施する4つの認定・認証制度（横浜型地域貢献企業認定、よこはまグッドバランス賞、横浜健康経営認証、横浜市 SDGs 認証制度“Y-SDGs”）を全て取得した企業を対象とする「横浜グランドスラム企業表彰」を創設します。

【制度概要】

■「横浜グランドスラム企業表彰」の対象要件

次の4つの認定・認証制度の全てを、基準日において取得されている事業者であることが要件です。

名称	横浜型地域貢献企業 認定制度	よこはまグッドバランス賞	横浜健康経営認証	横浜市 SDGs 認証制度 “Y-SDGs”
認証 マーク	 YOKOHAMA 地域貢献企業	 Yokohama Good Balance	 YOKOHAMA HEALTH AND PRODUCTIVITY 横浜健康経営	横浜市SDGs認証制度 Y-SDGs 
担当課	経済局 中小企業振興課	政策局 男女共同参画推進課	健康福祉局保健事業課 経済局中小企業振興課	温暖化対策統括本部 SDGs 未来都市推進課
制度	積極的に地域・社会貢献活動を行う企業等を認定	誰もが働きやすい職場環境づくりを積極的に進める市内企業等を認定	健康経営に取り組む市内事業所を取組度合いに応じて認証	SDGs 達成に向けて取り組む事業者を認証
創設年度	平成 19 年度	平成 19 年度	平成 28 年度	令和 2 年度
認証数	459 社	205 社	786 事業所	354 事業所

※認定・認証数は令和4年4月1日時点

(裏面あり)

■ 選定方法

横浜市が要件に該当する事業者を選定

■ 基準日

毎年度 4月1日

■ 開始時期

令和5年4月1日を初回基準日として運用開始

■ 表彰について

表彰は原則として毎年度1回行い、表彰状を授与します。

本表彰は1事業者あたり1回限りとし、2度条件を満たしても表彰は行いません。

■ 今後のスケジュール

令和4年6月～

表彰制度の
周知

令和5年4月1日

該当企業
選定

令和5年5月～6月ごろ

表彰

～横浜グランドスラム企業表彰のロゴマーク～

【横浜グランドスラム企業】の欧文である、
YOKOHAMA GRAND SLAM COMPANYの4つの頭文字を4色で配置し、
『4つの認定』を表現しました。

また、この4つの頭文字を、月桂冠をモチーフに市の花であるバラで囲いました。
月桂冠には「最も名誉のある地位や、そのしるし。」という意义があり、
横浜グランドスラム企業表彰の持つブランド価値を表しています。



お問合せ先

(横浜グランドスラム企業表彰に関すること)

(横浜型地域貢献企業に関すること)

経済局中小企業振興課長

高柳 友紀

Tel 045-671-2575

(よこはまグッドバランス賞に関すること)

政策局男女共同参画推進課長

齋藤 亜希

Tel 045-671-3691

(横浜健康経営認証に関すること)

健康福祉局保健事業課健康づくり担当課長

岩松 美樹

Tel 045-671-3376

経済局中小企業振興課長

高柳 友紀

Tel 045-671-2575

(横浜市 SDGs 認証制度” Y-SDGs” に関すること)

温暖化対策統括本部 SDGs 未来都市推進課担当課長

田邊 俊一

Tel 045-671-2477

※本件は、横浜経済記者クラブへも同時発表しています。